

広報えびの

4

広報えびの 4月号

2011 April

No.534

平成 23 年 4 月 20 日発行

【特集】
次代を創ろう！ 私たちの未来設計図
平成 23 年度施政方針 [P2 ~ P3]

次代を創ろう！ 私たちの未来設計図10年の計

3月定例市議会が3月7日から3月25日まで開かれ、村岡市長は「平成23年度施政方針」を述べました。今回は、その内容の一部を抜粋してお知らせします。

■今年度に向けて

昨年は、「変革と挑戦！市民一丸で未来を開拓」をスローガンに市政運営を行ってきましたが、口蹄疫・新燃岳噴火など不測の事態も経験する中で、新年度に向けた課題やメッセージも明確になったと感じています。

平成23年度は、市の計画の最上位に位置づける第5次総合長期計画の策定を行う年です。「次代を創ろう！私たちの未来設計図10年の計」のスローガンの下、昨年再認識した「市民の絆」を基本に、市民が一致団結

し、共通の認識を持ちながら将来への道筋を確認できる年にしていきます。

これまでの行財政改革の取り組みの結果、市の財政状況は改善されてきたところです。

しかし、今後も自主財源の大幅な増加は見込まれず、引き続き安定的な財政運営を行う必要があるため、これからも緊張感を持った財政運営に努めていきます。

一方、このような財政状況にあっても、市民が夢と希望の持てるまちづくりを進めるためには、市民と共有できる目標を掲げて、将来を見据えた積極的な政策を打ち出さなければならぬと思っています。

そのためにも、まちづくりのあり方を今一度見つめ直し、地域で何が求められているのか、何が地域で

きるのか市民の皆さんと情報を共有し、力を合わせて市民協働のまちづくりを進めていきます。

私が掲げたマニフェストの事業は、既に実現したものもありますが、公表から2年の区切りとして、市民の皆さんの声を伺いながら検証していきます。

■予算の編成

平成23年度当初予算の編成は、財政規模に応じた事業を実施し、将来世代に過度の財政負担を転嫁しないよう留意し、将来を見据え、諸施策に反映させました。

■市民参画・市民協働・人権

「えびの市自治基本条例」に基づき、「えびの市自治推進委員会」で市民参画と市民協働の状況、行政情

報の共有などを市民の目線で検証し、行政運営により多くの市民が参加できる体制づくりを進めていきます。また、すべての人の人権が尊重される差別のない社会、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる社会の実現に努めていきます。

■産業振興

えびの市の持つ地域特性や地域資源を有効に活かしながら、基幹産業である農業の振興をはじめ、企業誘致の促進や既存企業の振興、観光振興など、就業の場を創出・拡大し、市民所得の向上と定住促進、交流人口の増大を図って、市内経済の活性化と地域振興に努めます。

また、えびの市の産業振興に大きな影響が考えられるTPP（環太平洋

洋パートナーシップ協定）の議論についても、国の動向を注視していきます。

農業の振興については、平成22年度に設立した、市・J A・県が一体となった「えびの市総合農政連絡協議会」を中心に中・長期計画の策定と事業化を目的に推進していきます。

■学校教育・社会教育

平成20年度から導入した小・中・高一貫教育の更なる充実のため、教職員の兼務発令による系統性・一貫性のある指導を行っていきます。

社会教育の大きな柱として、住民主体を基本とする官民協働によるまちづくりが進められるよう「市民大講学講座」、「地域リーダー育成講座」、「自治公民館地域活動モデル事業」など、市民の学習意欲や自治能力を高める生涯学習の推進を図っていきます。

■保健・医療・福祉

加速する少子高齢化社会にあつて、子どもから高齢者まで全ての市民一人ひとりが、健康で心豊かにいきいきと暮らせるまちづくりを推進していきます。

高齢者福祉・介護保険事業については、高齢者が住みなれた地域で自立した日常生活ができるよう、地域福祉支援システムを導入し、地域の

見守り体制の充実を図っていきます。

■市民生活・生活環境

市民一人ひとりが「ゆとりある豊かさを実感できる環境づくり」として、総合的な防災対策やごみ処理、生活排水対策、水質保全などの生活環境対策に取り組み、快適な生活環境づくりを目指していきます。

■都市基盤

市道、農道、林道などの整備と機能管理は、生活環境の保全と地域経済の活性化に欠かすことのできない

役割を担っています。また、安心、安全な河川や排水路などの整備も地域住民の生命財産の確保を図るために重要です。総合長期計画や過疎計画・辺地計画との整合性を図りながら計画的な整備に努めていきます。

■持続的な発展に努めます

ますます高度化・多様化する市民ニーズに適切に対処していくには、

困難を伴う局面も出てくるかと思いますが、みんなで知恵を出し合い、なお一層の行財政改革に努め、真に自立した地方自治体として持続的な発展ができるよう努めていきますので、よろしくお願いします。



■一般会計歳出（目的別）

単位：千円

科目	23年度 当初予算額	22年度 当初予算額	増減率
議会費	170,387	135,785	25.5%
総務費	1,736,547	1,605,245	8.2%
民生費	3,677,417	3,441,987	6.8%
衛生費	963,953	864,544	11.5%
労働費	7,926	11,626	-31.8%
農林水産業費	708,465	748,011	-5.3%
商工費	264,227	236,707	11.6%
土木費	542,267	476,368	13.8%
消防費	324,827	322,087	0.9%
教育費	736,676	672,856	9.5%
災害復旧費	129,067	107,955	19.6%
公債費	989,114	1,159,675	-14.7%
予備費	34,127	32,154	6.1%
合計	10,285,000	9,815,000	4.8%

■市民一人あたりの予算額

1人あたり 487,209円



1世帯あたり 1,136,212円

※4月1日現在、住民基本台帳人口で算出。

■会計別予算の状況

単位：千円

会計	23年度	22年度	増減率
国民健康保険特別会計	3,697,394	3,696,249	0.03%
後期高齢者医療特別会計	575,868	567,141	1.5%
介護保険特別会計	2,703,100	2,667,384	1.3%
観光特別会計	32,900	32,962	-0.2%
水道事業会計	600,200	566,518	5.9%
病院事業会計	1,059,603	1,047,348	1.2%

項目	金額	割合	経費区分
人件費	2,097,031千円	20.4%	義務的経費 51.3%
扶助費	2,184,340千円	21.3%	
公債費	989,114千円	9.6%	
普通建設事業費	966,194千円	9.4%	その他の経費 38.4%
災害復旧事業費	95,840千円	0.9%	
その他	3,952,481千円	38.4%	

一般会計歳出（性質別）
投資的経費 10.3%

項目	金額	割合
市税	1,765,259千円	17.2%
繰入金	532,967千円	5.2%
使用料及び手数料等	299,992千円	2.9%
地方交付税	3,871,292千円	37.7%
国庫支出金	1,583,652千円	15.4%
県支出金	848,695千円	8.3%
地方債	679,074千円	6.6%
地方譲与税等	431,877千円	4.1%

一般会計歳入
自主財源 27.9%
依存財源 72.1%

諸収入 2,721,922千円（2.6%）

一般会計歳入歳出総額は102億8500万円

平成23年度

当初予算

さらなる市の活性化と
市民の安心・安全の確保のために

財政健全化を進めながら
重点的・効率的に配分

平成23年度一般会計予算の総額は、歳入、歳出それぞれ102億8500万円です。平成22年度当初予算と比較すると、4億7000万円の増、率にして約4.8%の増額予算となっています。

歳入予算の財源割合は、構成比で自主財源（自主的に収入できる財源）は27.9%、依存財源（国や県からの交付金・支出金や、地方債による財源）は72.1%となっております。

平成23年度は、依然として厳しい財政運営の中、財政健全化に向けた取組みを継続しながら、さらなる市の活性化と市民の安心・安全の確保のために、なお一層の財源の重点的、効率的な配分に努めました。また、市民の皆さんの予算編成への参画を図るために、平成23年度当初予算要求における「主な事業」を公開し意見を募集しました。市民の皆さんから寄せられた意見を踏まえた上で予算編成を行ったところです。

経済対策や市民の皆さんに

平成23年度の主な事業

■移住定住促進事業（200万円）▽市の空き家バンクに登録してある物件の改修費などの支援を行います（空き家バンク補助金）。

■防疫対策看板配布事業（286万7千円）▽「関係者以外立入禁止」の看板を作製し、市内畜産農家へ配布します（えびの市口蹄疫対策基金事業）。

■家畜伝染病侵入防止対策事業（500万円）▽口蹄疫などの家畜伝染病感染防止のため、農場入り口などに簡易型車両消毒装置やポータブル動噴などを設置した場合、費用の半分の補助を行います（えびの市口蹄疫対策基金事業）。

■ファミリーサポートセンター委託事業（300万円）▽安心して子育てができる環境をつくるため、子育ての「手助けをして欲しい人」と「手助けができる人」を会員登録し、地域において相互に助け合う福祉サービ

スを提供します。

■住宅リフォーム促進事業（1000万円）▽市民の生活環境の向上、地域経済の活性化と雇用創出を図るために、住宅を市内の施工業者に依頼してリフォーム（修繕、補修、改築、増築）を行った場合に、かかった費用の20%（上限20万円）を補助します。

■中学校耐震化事業（3989万8千円）▽加久藤中学校校舎と体育館が耐震診断の結果、国の定める基準を下回り耐震化が必要なため、耐震補強工事を行います。

■市内体育施設整備事業（2896万8千円）▽市民体育館の防球ネット設置、王子原運動公園のスコアボード改修、真幸地区体育館のオストメイトトイレの設置を行います。

■お問い合わせ先
市財政課 財政係
☎35・1111
(内線381・382)

* 新規採用職員を紹介します *

平成 23 年 4 月 1 日付けで、次の 9 人がえびの市役所の職員として採用されました。
新規採用職員の、今後の抱負や意気込みを紹介します。



ありかわ けんいち
有川 恵一
企画課

1 人でも多くの市民の皆さんと出会い、私の事を知ってもらい、誰でも気軽に声をかけてもらえるような職員になれるよう頑張ります。



くろき けいた
黒木 敬太
税務課

まだまだ分からない事が多く、日々勉強中ですが、努力を重ねて市民の皆さんの生活を支えていけるように頑張っていきたいです。



なかむら けい
中村 清人
健康保険課

不器用ですが、持ち前の元気で素直さで少しでも早く信頼される職員になれるよう日々精進していきます。温かい目で見守ってください。



やました たい
山下 泰
福祉事務所

市民の皆さんのお力に一日でも早くなれるよう努力していきます。また、えびのがより良い街になるよう努力していきます。



なかむら みさる
中村 美朗
観光商工課

京町出身です。市職員としての自覚を忘れずに一日でも早く市民の皆さんのお役に立てるよう頑張ります。



そとむら たくや
外村 拓也
畜産農林課

えびの市のために、一生懸命頑張っていきたいと思えます。初心を忘れずに、誰に対しても公平に接することのできる職員を目指します。



しまり ふじゆういちろう
下り 藤裕一郎
建設課

えびのの皆さんの人情味、優しさを感じました。これまでの経験を生かせるよう、日々努力して行きます。笑顔絶やさずがんばります。



くわのき かずひと
桑木 和人
建設課

即戦力となるよう日々努力し、えびの市のために、市民のための職員になれるよう、頑張っていけます。よろしくお祈りします。



かど しょうへい
角 翔平
水道課

1 日でも早く仕事を覚え、えびの市のために頑張っていきたいと思えます。未熟な面もあると思えますが、よろしくお祈りします。

 木村 政一 監査委員事務局長	 福田 孝正 環境業務課長	 白坂 良二 財産管理課長	 村岡 隆明 市長
 松岡 信一 農業委員会事務局長	 坂本 謙太郎 観光商工課長	 木村 哲也 税務課長	 椎重 明 副市長
 杉元 真一 学校教育課長	 吉留 伸也 畜産農林課長	 柳田 昭雄 市民課長	 萩原 和範 教育長
 上 加 世 田 た ず 子 社会教育課長	 森 賢 建設課長	 鶴田 晃一 飯野出張所長	 泊 秀 智 会計管理者兼会計課長
 下 原 龍 一 学校給食センター所長	 徳重 順子 福祉事務所長	 高 戸 芳 政 真幸出張所長	 上 加 世 田 章 人 総務課長
 園 田 毅 水道課長	 堀川 純一 議会事務局長	 竹 下 京 一 健康保険課長	 野 間 教 昭 企画課長
 松 永 康 二 市立病院事務局長	 平 野 浩 二 選挙管理委員会事務局長	 坂 本 健 一 郎 長寿介護課長	 馬 越 脇 浩 財政課長

市の組織体制

平成 23 年 4 月 1 日付けで、市職員の人事異動が発令されました。平成 23 年度のスタートにあたり、市長をはじめ各課事務局長、新規採用職員を紹介します。

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）で亡くなられた皆様のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。また、被害を受けられた皆様、そのご家族の皆様、心からお見舞い申し上げます。

「東日本大震災」への義援金については、3月18日に区長会を通じて、救済物資については、4月5日号の「広報えびのお知らせ版」や新聞折

り込み広告でお願いしました。多数の皆さんの温かいご救援、ご協力ありがとうございました。

えびの市は、過去にえびの地震や口蹄疫など多くの災害を体験しています。その時、全国の方々から温かい義援金や物資をいただきました。今回の大震災では、えびの市民が復興支援に協力するときに

市では、3月11日に発生した東日本大震災を受け、3月15日の議会で被災地に200万円の災害見舞金を送ることを議決。翌3月16日には、日本赤十字社宮崎支部を通して被災地に送りました。

同日には、被災者への救援体制を確立するため、えびの市東日本大震災支援対策本部を設置しました。

また、市では、被災者がえびの市に移住を希望された場合、受け入れる住宅、保育所の入所枠の確保、生活救援などの対策を整えています。基本的な生活に関するすべての負担を市が行います。

市には、市民の皆さんから、「えびの米をトラックで届け、えびのをPRするべきだ」など、もっと積極的な救援の取り組みを望む声がたくさん届いています。しかし、かつてない大災害で、受け入れ体制も十分でない中、全国の自治体が個別に支援を行っていたのは、混乱にさらに拍車をかけることとなります。そこで、

現在、被災者の受け入れおよび救済物資の輸送については、全国知事会の広域応援協定に基づく対応が行われています。えびの市も、この支援協定に基づき、要請を受けた支援物資の供給に全力で取り組みます。

協定に基づき、宮崎県は宮城県の復興支援を行うことになっていきます。3月26日から、協定に基づき、市役所1・1会議室に、救済物資受け入れ窓口を設置し、個人からの救済物資（指定物資に限る）の受け入れを行いました。

なお、救済物資の受け入れは、4月15日で中止となりました（宮崎県の受け入れが、4月15日で中止となったため）。詳しい内容については、市福祉事務所福祉係35・1111内線261までご確認ください。

被災者の支援は、根拠の乏しい情報に惑わされず、永い目で行うことが大切だと考えます。市では、県などと連携しながら、半年後、1年後もしっかりと支援を行います。被災者の要望に合った、えびの市民ができる救援策を、市民の皆さんにお願いいたしますのでご協力をお願いします。

■東日本大震災 ご支援をお願いします 本当に被災者が必要なもの



被災者の立場に立って支援を

市民の皆様におかれましては、今回の東日本大震災の被災者の皆様に対し、多くの温かい心遣いを頂いております。心から感謝いたしております。

震災を経験したえびの市と致しまして、今後とも引き続き被災者の立場に立って、何が・いつ・どれ

くらい必要かを十分把握し、半年後一年後もしっかりとサポートしていくべきだと考えています。

また、えびの市民が出来る支援策をそのつど市民に伝えていくことも重要だと考えています。

市民の皆様におかれましても、被災された方からの情報や要望などを聞かれたら、是非気軽に市の支援対策本部にご相談いただきますようお願いいたします。



えびの市長
村岡隆明

ボランティアについては、えびの市社会福祉協議会が問い合わせ窓口として対応します。

【お問い合わせ先】
えびの市社会福祉協議会
☎ 35・2800
▽チェインメールなどで誤った情報が流れています。報道や行政機関などの信頼できる情報源で真偽を確かめ、惑わされないようご注意ください。

【お問い合わせ先】
えびの市東日本大震災支援対策本部（市企画課内）
☎ 35・1111
内線322

■義援金のお願い

■募金箱での募金（領収書は発行しません）
【設置期間】3月14日から8月31日まで
【設置場所】市役所本庁2階市民課窓口、飯野出張所、真幸出張所、市立病院、市民図書館

■現金での募金（領収書を発行します）
【受付期間】3月14日から8月31日まで
【受付場所】えびの市社会福祉協議会

■口座振込での募金

「日本赤十字社」
①ゆうちょ銀行
口座番号 00140 - 8 - 507
口座名義 日本赤十字社 東北関東大震災義援金「共同募金会」
①ゆうちょ銀行
口座番号 00170 - 6 - 518
口座名義 中央共同募金会 東北関東大震災義援金

②りそな銀行 東京公務部（295）
預金種目 普通預金
口座番号 0036576
口座名義 社会福祉法人中央共同募金会

③三井住友銀行 東京公務部（096）
預金種目 普通預金
口座番号 0155400
口座名義 社会福祉法人中央共同募金会

※寄付金控除等で領収書が必要な場合は、えびの市社会福祉協議会での募金をお願いします。
※②および③については、本支店間での振込手数料は無料です。
※その他の金融機関からの振り込みは有料となります。また、ATM およびネットバンキングからのお振り込みに関する手数料については、ご利用の金融機関にお問い合わせください。

問募金箱について 市企画課
☎ 35 - 1111（内線321）
現金での募金 市社会福祉協議会
☎ 35 - 2800
口座振り込みでの募金
日本赤十字社宮崎県支部
☎ 0985-22-4045

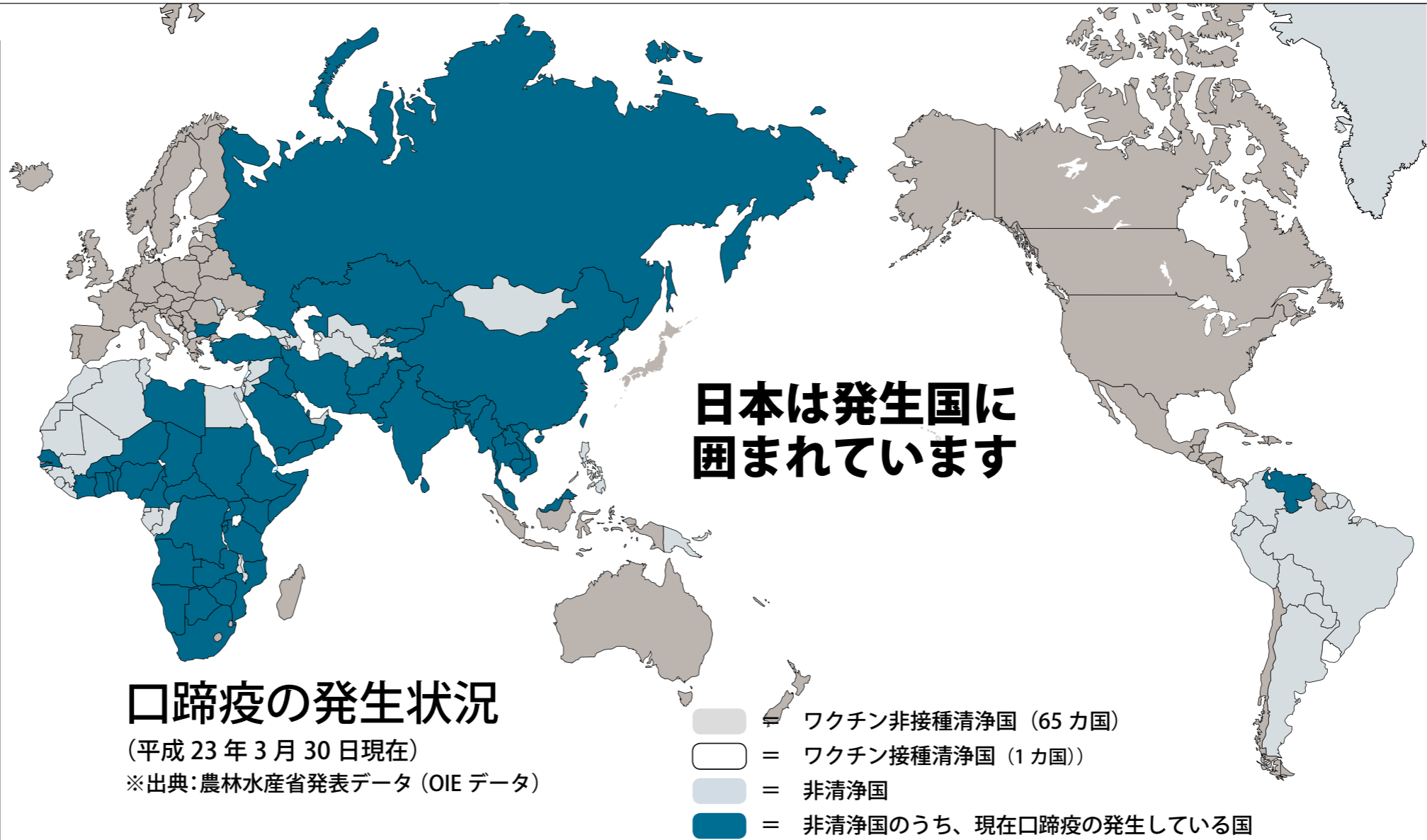
※ゆうちょ銀行については、窓口での振込手数料は無料です。②および③については、本支店間での振込手数料は無料です。

■義援金詐欺にご注意

災害義援金につけ込んだ振り込み詐欺や街頭募金、訪問しての詐欺がすでに各地で発生しています。くれぐれも義援金詐欺にはご注意ください。

あれから1年。あの悲劇を繰り返さない

今も迫りつづめる口蹄疫



日本は発生国に
囲まれています

口蹄疫の発生状況

(平成 23 年 3 月 30 日現在)

※出典:農林水産省発表データ (OIE データ)

- ワクチン非接種清浄国 (65 カ国)
- ワクチン接種清浄国 (1 カ国)
- 非清浄国
- 非清浄国のうち、現在口蹄疫の発生している国

ワクチン非接種清浄国

日本
アメリカ
フランス
イギリス
イタリア
スイス など 65 カ国

ワクチン接種清浄国

ウルグアイ

非清浄国

モンゴル
フィリピン
ブラジル
アルゼンチン
ペルー
エジプト など

口蹄疫発生地域

中国
韓国
北朝鮮
台湾
タイ
ベトナム など

頭が殺処分されました。県内では、約29万頭が処分されるなど、甚大な被害を及ぼしました。思い出しましょう、消毒作業の日々を。農場を守るには、農場主の意識の高さと、事前の対応が必要です。消毒の徹底をはじめ、飼養衛生管理基準の遵守に心がけてください。

毎月20日は、県内一斉消毒の日です。消毒の徹底は家畜衛生対策の基本です。

【お問い合わせ先】
市畜産農林課畜産振興室
☎ 35-1111 (内線 222)

思い出そう 頑張っていた消毒を



上浦での消毒作業



農協での消毒作業

●毎月 20 日は、県下一斉消毒の日です

畜舎の消毒	・出荷後、敷料を除去した空の畜舎などを、動力噴霧機により、洗浄・消毒を行います。動噴がない場合は、消毒薬をジョウロなどで散布しましょう。
消石灰散布	・車両が入ってくる農場入口に、全体的に白くなるように散布します。
踏み込み消毒槽の点検	・畜舎入り口の踏み込み消毒槽を点検し、消毒薬を確認しましょう。 ・踏み込み消毒槽は必ず設置するようにし、消毒薬が汚れたらすぐに取り替えるようにします。
畜舎周囲の清掃	・畜舎周囲の除草や草刈り等を含めた環境の整備に努めましょう。 ・畜舎消毒や踏み込み消毒槽の点検は消毒の日に限らず、随時行うことが大切です。

広げよう子育て支援の輪

えびの市ファミリーサポートセンターをご存じですか？

ファミリーサポートセンターとは、子育ての支援をしたい人(おたすけ会員)と子育ての援助を受けたい人(お願ひ会員)が会員となって、お互いに子育てを助け合う組織です。

えびの市では、子育て支援事業の一環として、「ファミリーサポートセンター事業」をえびの市福祉協議会で4月1日から行っています。

こんな時に利用できます

- ・幼稚園、保育園への送迎
- ・冠婚葬祭
- ・育児疲れのリフレッシュ
- ・急な残業が入った時
- ・など、毎日の暮らしの中で、「ちょっと援助をしてもらえば切り抜けられる」と思うことがあると思います。そういった際は、ご利用ください。

利用するには

センターに会員登録をし、

センター主催の講習会・説明会を受けることが必要です。援助が必要な際には、センター事務局が地域や援助の時間帯、援助内容などを考慮して、お願ひ会員とおたすけ会員の調整を行います。

お願ひ会員募集中

お願ひ会員になるためには、入会登録が必要です。入会金、会費は無料です。入会登録は、センター事務局で手続きを行なっています。入会登録の際はセンターに電話での事前予約をするか、直接えびの市ファミリーサポートセンターまでお越しください。

お願ひ会員とは

市内在住または勤務の方で、生後3か月から小学6年生までの子どもがいる、援助を受けたい方です。今すぐ援助が必要でなくて

も、いざ必要な時にすぐに利用できるよう、事前に会員登録をお勧めします。

おたすけ会員募集

市内在住の成人の方で、心身ともに健康で、自宅もしくはセンター等で、子どもを預かる方を募集しています。センターが実施する育児や保育に関する2日間程度の講習を受講し、会員登録をした方はどなたでもおたすけ会員になることができます。

おたすけ会員になりたいとお考えの方は、えびの市ファミリーサポートセンターまでご連絡ください。

【お問い合わせ先】

えびの市ファミリーサポートセンター(えびの市社会福祉協議会内)
☎ 35・3120
(受付時間) 月～金曜日の午前9時～午後4時

●サポート利用料金

利用時間	サポート料金(子ども1人)	備考
月曜日～金曜日 午前7時～午後7時	1時間あたり 500円	送迎に係るガソリン代等、実費が必要な場合があります。
土・日曜日、祝日 午前7時～午後7時	1時間あたり 700円	

- 1日のサポート活動時間は2時間程度
- やむを得ず上記時間を越えた場合は、1人1時間あたり、対象となる基準額を下回らない額
- 最初の1時間までは、それに満たない場合でも1時間とみなします
- 1時間を越える場合には、30分単位で計算し、加算します。30分を越え1時間までは基準額とします
- 援助時間はおたすけ会員が指定する者へ引き渡した時までの時間とします
- 当日のキャンセルは、キャンセル料が発生します



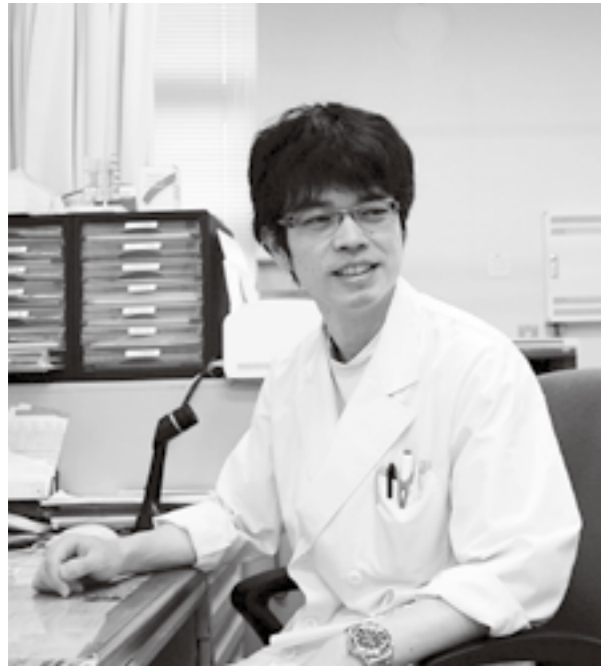
充実した医療サービスの提供が可能に

えびの市立病院

えびの市

地域の基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のために重要な役割を果たしています。

昨年度まで、えびの市立病院の内科は、医師不足のため、内科医1人での運営となっていて、厳しい状況でした。市では、この状況を打開するため、医師の派遣依頼をさまざまな関係機関に行ってきました。その結果、4月1日から宮崎県の内科医の派遣が決まりました。市立病院の常勤医師は、



4月1日から勤務の永山学医師

外科2人、内科2人、整形外科1人の計5人となりました。これにより、市民の皆さんに今まで以上の充実した医療サービスの提供ができるようになります。今回派遣された永山医師は「専門は、消化器内科です。診療に来られた市民の皆さんに分かりやすく、親しみのある診察を心がけていきたいです」と話していました。

【お問い合わせ先】

えびの市立病院
☎ 33・1024

素敵な出会いをプロデュースしませんか

出会い創出事業

市

では、独身の男女が出会えるイベントなどを開催する団体等に、事業費の一部を補助します。農業体験、料理教室などさまざまなイベントを企画して、出会いをプロデュースしてください。

- 【補助対象者】市内に住所があるか、または市内に所在地がある人や団体
- 【補助対象事業】未婚の男女を対象とした出会いの場を提供するイベントなど
- 【補助対象経費】会場使用料、借上料、事務経費その他消耗品費など

【補助対象外経費】・飲食費、賞品、景品代等

【補助金の額】予算の範囲内で、補助対象となる経費のうち10万円が上限

【補助金申請方法】市役所本庁企画課にある申請書に記入し、企画課に提出

【その他】

※要件などの詳細については、企画課・振興係までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

市企画課振興係
☎ 35・1111
内線323



未婚の男女を対象とした出会いの場を提供してみませんか

市のまちづくりを一緒に考えてみませんか

市では、えびの市のまちづくりを一緒に考えるワークショップ参加者を募集しています。

地域ごとに存在する資源や課題を出し合い、その中で「地域(自分たち)ができること」などを市民の視点で話し合ってもらい、それを総合計画基本構想や基本計画に反映させることが目的です。

【募集期間】平成23年5月9日(月)まで
 【募集人員】飯野地区北部3人、飯野地区南部3人、加久藤地区2人、真幸地区

3人の計11人程度
 【資格】市居住の20歳以上の方で、市のまちづくりに関心と意欲があり、ボランティアとして平日昼間の会議に出席できる方。
 【応募方法】申込書に必要事項を記入の上、企画課計画係へ直接提出してください。申込書は、市企画課計画係にあるほか、市のホームページ(<http://www.city.ebino.lg.jp>)からもダウンロードできます。
 【お問い合わせ先】市企画課計画係 内線322

【地域別ワークショッププログラム】

開催日	項目	内容
5月18日(水)	「オリエンテーション」	趣旨の説明、全3回の会議内容説明など
5月25日(水)	「地域情報マップの作成」	・地域資源の共有 ・地域課題の共有 ・重点課題の抽出など
6月1日(水)	「具体的な取り組み提案」	・重点課題への対応策提案 ・対応策の分類

※ワークショップとは、まちづくりなどのテーマについて、参加者が自由に意見を出し合い、お互いの立場や考えの違いを尊重し、問題意識や情報を共有して、意見や提案をまとめあげていくものです。

伝統芸能の道具を宝くじで整備

麓輪太鼓踊で使用する太鼓やかねが、平成22年度で新しくなりました。

麓輪太鼓踊保存会では、地元小学生に麓輪太鼓踊の技術の伝承と後継者育成に努めています。

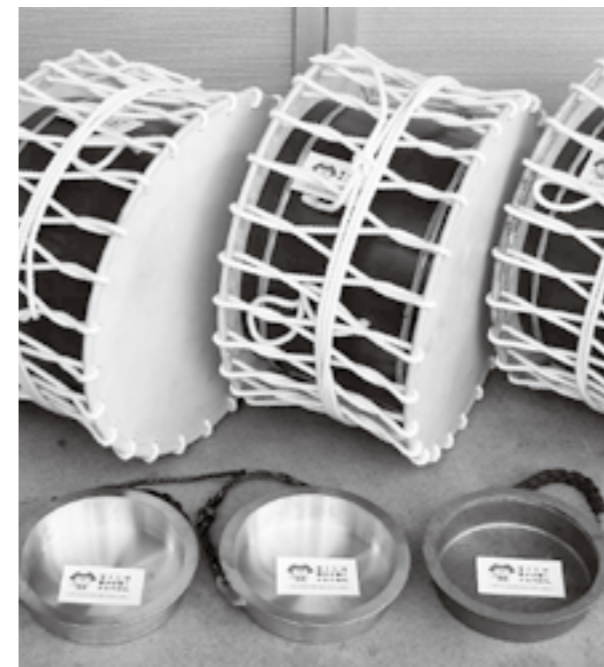
しかし、長年使用している太鼓やかね等の道具の損傷が激しく、正確な技術伝承などができないことから、財団法人自治総合センターの宝くじ助成事業を取り入れ、整備されたものです。

宝くじの助成事業とは、財団法人自治総合センター

が、全国自治宝くじ普及広報事業として行っている助成です。

宝くじの受託収入を財源として、人と人が行うコミュニティ活動を推進し、その健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報事業を行うものです。

麓輪太鼓踊保存会会長濱田喜八郎さんは「宝くじの助成を受けて、不足していた道具がそろって大変うれしいです。これで、一層伝統芸能の伝承や後継者育成などに力を注ぐことができます」と話していました。



新しく整備された太鼓とかね

がんばる！公民館

明るく・住みよい地域づくりを

(平成23年度社会教育指導員の紹介)

市内65の自治公民館では、各公民館長を中心に、地域の特性を生かしたさまざまな活動が行われています。少子高齢化や地域のつながりの希薄化が問題とされる中、各自治公民館では地域住民が協力し、郷土芸能の伝承や年中行事を行っています。また、地域の子どもは地域で育てるという意識で世代間交流に努めたり、学習会を行ったりしながら生活・文化

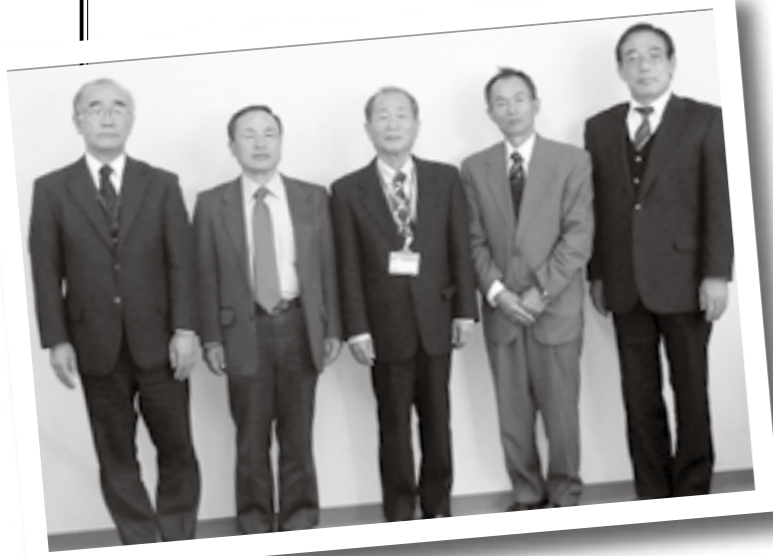
の向上を図っています。自治公民館活動は、地域の活性化や地域づくり、人づくりに欠かすことのできない重要な役割を担っています。皆さんも、公民館活動に積極的に参加して、地域を盛り立てていきましょう。

活動に関する相談は社会教育指導員まで

教育委員会には、各自治公民館と連携を図りながら、公民館活動の情報提供や指導を行なう社会教育指導員と、家庭教育学級や家庭教育に関する相談窓口を行う社会教育指導員がいます。何でもお気軽にご相談ください。

【社会教育指導員】

- ▽飯野地区 〓 鬼丸修さん ☎ 33・0030
- ▽上江地区 〓 溝口幸男さん ☎ 33・5799
- ▽加久藤地区 〓 奥松勉さん ☎ 35・2268
- ▽真幸地区 〓 藤崎裕之さん ☎ 37・3221
- 家庭教育相談窓口
- ▽松元國治さん ☎ 35・2268



左から藤崎裕之さん、奥松勉さん、松元國治さん、溝口幸男さん、鬼丸修さん

ジオパーク発掘調査隊 その19



今月は、小林市の奇石「陰陽石」を紹介いたします。

全国的に珍しい陰陽石

浜の瀬川の上流部に高さ17・5メートルの男岩と周囲5・5メートルの女岩からなる陰陽石があります。

川の流れが霧島の噴火で堆積してできた溶結凝灰岩を削ってきた自然の造形物といわれ、男女岩が同じ場所にあるのは全国でも珍しいことで有名です。

特別な自然の意思が働かなければ、できそうにないと感じてしまうほどです。その見事な造形は生産や繁栄への信仰を生み、古くから子宝の神として祭られる



生産と和合の象徴「陰陽石」

市内周辺には生産の神である田の神像がいたるところにあります。陰陽石のそばに宮崎最古とされる田の神像があることから繁栄を願う祈りと無縁ではないのかもかもしれません。

宮崎観光遺産

宮崎県では平成21年に、秘められた魅力を掘り起こし新たな観光地づくりを目指すため「宮崎観光遺産」を選定しました。

その一つに「陰陽石」が認定されました。他には延岡市の「チキン南蛮」や宮崎市の「大根やぐら」等があります。

浜の瀬川にそびえる生産と和合の象徴「陰陽石」。この存在を知らない方を連れて行ってみませんか。一見の価値あります。

● 小林市総務部総合政策課 ☎ 23・0456



4月3日に行われた入退団式

阪口正忠さん

絆（つながり）を大事に 地域を盛り上げていきたい

Masatada Sakaguchi
さかくち・まさただ / 35歳 / 京町区 /
自営業 / 趣味：家族みんなで楽しく過
ごすこと。アウトドア、釣りなど

「2年ぶりに消防団に帰って来ました」と話すのは、えびの市消防団第3分団（真幸地区）副分団長の阪口正忠さん（京町区）です。

阪口さんは、京町区の消防団に11年間在籍。2年前に退団後、今年4月からえびの市消防団第3分団副団長として

消防団に復帰しました。「副分団長に誘われた時は、正直戸惑いました。私に務まるのかなどのプレッシャーを感じていました」と心境を話します。

「消防団は、絆（つながり）を大事にしています。まずは、その絆で、団長や副団長、分団長を柱に、消防行事等で消防団を盛り上げていきたいです」「消防団の盛り上がり、えびの市全体に波及していきなす。」と抱負を話します。

「えびの市消防団も団員の確保がなかなか難しい現状です。入団したいと思う人は、ぜひ、消防団に入団してください」「えびの市消防団ラッパ隊も人員が不足しています。現消防団員でラッパ隊に興味のある人は、加入を願います」と話していました。

えびの産の食材を使ったおいしい料理



◎今月一品 (サツマイモのいとこ煮)

レシピ

【材料】(4人分)
 サツマイモ(中).....1本
 塩.....少々
 砂糖.....少々
 水.....ひたひた
 ゆであずき缶.....100g

【作り方】
 ①サツマイモは一口大に切り、水につけてあく抜きをする。
 ②鍋にサツマイモを入れひたひたの水を加えて火にかける。軽く煮えたとこに砂糖、塩を入れ、煮る。
 ③サツマイモが柔らかく煮えたら、ゆであずきを加え、煮汁がなくなる少し前に火を止める。
 ④サツマイモを崩さないよう、全体を絡める。

recipe

今月紹介するのは、えびの市食生活改善推進員でつくった「サツマイモのいとこ煮」です。



【紹介者】 えびの市食生活改善推進員
黒木教子さん 迫田昭子さん 外野江美子さん

えびの市の つまがもん

「えびのつまがもん」

vol.36

まちのわだい

11'04 Ebino City Topics



それぞれの思いを手紙に託した参加者

市制50周年に開封
4月4日、山内地区で、カプセル郵便が埋められました。カプセル郵便には、山内地区民29人が参加。それぞれの思いを込めた手紙を埋めました。
このカプセル郵便は、10年後の社会情勢や家族、自分への思いを手紙にし、10年間保管管理します。10年後、その手紙を受け取り、開封します。開封は、市制50周年記念に合わせて行われる計画です。
カプセル郵便に参加した山下幸治さんは「10年後に手紙を見て、当時を思い出したいです」と話していました。



23年成人式で、飯野小学校の代表から預かりました

10年後に夢をつないで
市制施行40周年を記念して、10年後に新成人となる子どもたちの「2分の1成人タイムカプセル」が預けられました。10年後に新成人になる小学校4年生（平成22年度）178人が参加しました。
タイムカプセルは、市で管理し、10年後に開封します。子どもたちの夢を、10年後につないで行くことを目的に行われたものです。
タイムカプセルには、作文や記念品が入れており、作文には、「10年後のわたし」「10年後のえびの」などの夢が書かれています。
開封は、10年後の市制50周年の成人式で行われます。



小雨の降る中サクラの植林活動を行いました

市制施行40周年植林
3月21日、東川北地区のループ橋沿いの市有林で、植林作業が行われました。植林には、みどりの少年団やNEXCO西日本の関係者など、126人が参加。ヤマザクラ2000本を植林しました。
この植林は、市制40周年を記念して、NEXCO西日本などと共催で行われたものです。ループ橋沿いには、今回の植林と合わせヤマザクラ約6500本が植えられました。
植林活動後、みどりの少年団の宮原孝太さん（上江小6年）は「10年後に花を咲かせるのが楽しみです」と挨拶をしました。



防犯安全用具を受け取る新1年生

地域・交通安全に向けて
4月7日、市文化センターで、えびの市春の地域安全・交通安全運動決起集会が行われました。決起集会には、37団体約300人が参加しました。
決起集会では、今春、市内小中学校に入学した児童生徒の代表に防犯安全用具などが贈られました。
防犯安全用具をもらった山下樹乃さん（真幸小1年）は「車に気を付けて登校します」と話していました。
また、4月4日には、京町自治公民館で真幸地区の防犯教室も行われました。



宣誓を読みあげる祭禮田さん

新たに26人が消防団員に
4月3日、永山河川敷運動公園で、平成23年度えびの市消防団入退団式が行われました。
今年度は、新たに26人が消防団に入団し、26人が消防団を退団しました。
式開始前には、東日本大震災で、消防団活動中に亡くなられた消防団員に敬意と冥福を祈る黙とうが、ラッパ隊の演奏に合わせて行われました。
新入団員を代表して、第1分団第8部に入部した祭禮田和樹さんが「良心に従い、忠実に消防の職務を遂行することを誓います」と宣言しました。



新任教職員を代表してあいさつする和田光生校長

21人の先生がえびの市へ
4月11日、市文化センターで、平成23年度小・中学校教職員新式式が行われました。新式式には、今年度新たにえびの市の教職員になった21人（校長3人、教頭5人、教諭10人、養護教諭1人、事務主査2人）が参加しました。
新式式で村岡市長は「えびの市の財産である子どもたちを立派に育ててください」と歓迎のあいさつをしました。
新任教職員を代表して和田光生校長（真幸小）は「郷土を愛し、地域に貢献できる子どもたちの育成に努めます」と誓いのことを述べました。



力を合わせて深く掘る参加者

八幡丘公園の植樹祭
3月27日、八幡丘公園で植樹祭が行われました。植樹祭には、さくらフェスタ実行委員会や飯野小学校卒業生など約40人が参加。ソメイヨシノの成木20本を植樹しました。
この植樹祭は、さくらフェスタ実行委員会が八幡丘のサクラの老木化を少しでも緩和し、訪れる人に、きれいなサクラを見てもらおうと行われたものです。
参加者は、成木の植樹のため、深く穴を掘っていました。
また、この日は、日本ミツバチを愛する会や東原田地区でもサクラの植樹が行われました。

information

お知らせ コーナー

児童扶養手当の支給額が変更になります

児童扶養手当の支給額は、物価の上昇や下落に応じて増減するようになってきました。近年の消費者物価の下落を受けて、児童扶養手当の支給額は平成23年4月分から減額されることになりました。なお加算額については変更ありません。

【児童1人の場合の全額支給】

- 変更前 41,720円
- 変更後 41,550円

【児童1人の場合の一部支給】

- 変更前 9,850円～41,710円
 - 変更後 9,810円～41,540円
- ※詳しくは、市福祉事務所子育て支援係までお問い合わせください。

☎市福祉事務所子育て支援係
内線 267

ご存じですか。特別児童扶養手当

特別児童扶養手当は、精神または身体に障害のある20歳未満の児童を養育している父母等に支給されます。

なお、児童に障害がある場合でも支給要件により手当が支給されない場合があります。

詳しい内容については、市福祉事務所福祉係までお問い合わせください。

【手当月額】

- 1級 50,550円
- 2級 33,670円

☎市福祉事務所福祉係

内線 261

ご存じですか。特別障害者手当・障害児福祉手当

在宅で生活をしている重度の障害者、障害児の方々には、特別障害者手当・障害児福祉手当が支給されます。

なお、支給要件がありますので、詳細については市福祉事務所福祉係までお問い合わせください。

【特別障害者手当】

〔対象者〕20歳以上の方で、政令で定める程度の著しく重度の障害の状態にあるため日常生活において常時特別の介護を必要とする方

〔支給額〕26,340円（月額）

〔支給月〕年4回（2月、5月、8月、11月）で、支給月前の3か月分をまとめて支給します。

【障害児福祉手当】

〔対象者〕20歳以上の方で、政令で定める程度の著しく重度の障害の状態にあるため日常生活において常時特別の介護を必要とする方

〔支給額〕14,330円（月額）

〔支給月〕年4回（2月、5月、8月、11月）で、支給月前の3か月分をまとめて支給します。

☎市福祉事務所福祉係
内線 261

電気料金の特別措置が行われます

九州電力は、東北地方太平洋沖地震で被災され、九州電力供給区域内に転居された方からの申し出があった場合は、特別措置を講じます。

電気料金の早取期間および支払期限の延伸などの措置が行われます。詳しい内容は、九州電

力都城営業所までお問い合わせください。

☎九州電力都城営業所
☎ 0120-986-705

※通話料は無料

音声訳（朗読）ボランティア養成講座の受講生募集

宮崎県立視覚障害者センターでは、小林えびの西諸県地区で、音声訳（朗読）ボランティア養成講座を行います。この講座は、視覚障害者が豊かな生活を送るように、広報紙や議会だより、本など、分かりやすく読み上げるための講座です。

【開催日時】平成23年5月14日～平成24年3月の第2、第4土曜日（午後1時30分～午後3時30分）

【講師】堀之内悦子、水間節子
【会場】小林市社会福祉センター（小林市立図書館横）

【申込方法】下記に電話で申し込んでください。

☎小林市社会福祉センター
☎ 23-3466

自動車税の納付は、納期限内に

自動車税は、4月1日現在、宮崎運輸支局に登録されている自動車の所有者または使用者に課税されます。

金融機関または県税・総務事務所のほか、各コンビニエンスストア、インターネット利用によるクレジットカードでも自動車税を納めることができます。詳しくは納税通知書をご覧ください。

自動車をお持ちの方は、5月31日（火）までに、自動車税を納めてください。

もし、5月中旬までに納税通知書が届かない時は、お近くの県税・総務事務所までご連絡く

ださい。

なお、障害者の方のために使用する自動車については、一定の要件に該当する場合は、5月31日までに申請すれば、自動車税の一定額が減免されます。

☎小林県税・総務事務所
☎ 23-3194

軽自動車税の納付は、納期限内に

軽自動車税は、毎年4月1日現在で、宮崎運輸支局に登録してある軽自動車や126cc以上のバイク、市町村で登録されているバイク（125cc以下）や小型特殊自動車をお持ちの方に課税されます。

市役所または金融機関、各コンビニエンスストアでも軽自動車を納めることができます。詳しくは納税通知書をご覧ください。

軽自動車を所有の方は、5月31日（火）までに、軽自動車税を納めてください。

もし、5月中旬までに納税通

知書が届かないときは、市税務課までお問い合わせください。

障害者の方のために使用する軽自動車については、一定の要件に該当する場合は5月24日までに申請すれば軽自動車税が減免されます。

☎市税務課市民税係
内線 213・216

空き家改修経費を補助します

市内の空き家を有効に活用するため、また、市への移住・定住者を増やすため、市内の施工業者を利用して空き家の修繕・家財道具の運搬や廃棄・屋内清掃等を行う場合に、その経費の一部を補助します。

【補助対象者】

えびの市空き家バンクに登録している方。ただし、申請者および同一世帯員が、市税を滞納していない方

【補助対象住宅】

補助対象者が所有し、市が実施する空き家バンクに登録して

いる物件

【補助対象事業】

- ①台所、風呂などの修繕
- ②内装、屋根、外壁などの修繕
- ③家財道具などの運搬・廃棄
- ④屋内の清掃
- ⑤そのほか、移住者が居住するために必要な住宅の改修

【補助金の額】

予算の範囲内で40万円を上限とし、補助対象事業に要する費用の2分の1を補助します。（1千円未満の端数は切り捨て）※同一住宅について1回限り

【申請方法】

事業を行う前に企画課にある申請書に記入し、添付書類を添えて企画課に提出

【その他】

申請に必要な添付書類、詳細な内容については、市企画課振興係までお問い合わせください。

☎市企画課振興係
内線 322

119 だより

えびの消防署人事異動のお知らせ



4月1日付けの人事異動で職員が変わりました。

- 【着任】 前原幸太郎（署長）
千田健二（署長補佐兼係長）
池上優（署長補佐兼係長）
- 【離任】 赤川吉郎（消防本部次長）
野間和則（消防本部総務課長）
宮窪力男（中央消防署署長）

今年は、昨年と同じ時期に比べ火災が多く発生しています。空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期です。火災はちょっとした油断から発生します。

火災と間違えられる様な火入れをする場合は、消防署への届出と万全の火災準備を行ってください。

3月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	2件	年計	5件
	救急	75件	年計	192件

■えびの消防署 ☎ 33 - 6119

110 だより

ストップ！脇見ぼんやり運転



平成23年の「春の全国交通安全運動」が下記のとおり実施されます。

【交通安全スローガン】

ストップ！脇見ぼんやり運転

【期間】

5月11日（水）～5月20日（金）

【運動の重点】

- ・自転車の安全利用の推進
- ・全座席のシートベルト、チャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・飲酒運転の根絶
- ・てけてげ運転追放運動の推進（県独自）
- ・セーフティエコドライブの推進（県独自）

3月の交通事故 発生状況	人身	11件	年計	26件
	物件	25件	年計	83件

■えびの警察署 ☎ 33 - 0110

心の一首一句

短歌

春陽さす庭に咲きいる水仙の
肩寄せあいて風に耐えいる

下浦区 亀澤尚子

俳句

春たけなわの花の季に、現在未曾有の地震・津波・放射能の三重苦に見舞われ、正に地獄絵を見る思いである。災害に遭遇された方々に心からお見舞いを申し上げたい。
作者は病一つ持ちながら小康を得て水仙が寄り添うように春風に揺れるのを見て、心穏やかにおられる。東日本の人々にも早く明日と云う新しい日の訪れる事をお祈りしたい。
(評) 竹下妙子

俳句

柳絮とぶ租界のビルの間にも

白鳥区 中堀ふじ子

昨年の四月のことです。初めての上海、旧租界を旅行中、間断なく降ってくる白いものに気づきました。続いて行った動植物園でやっとわかりました。それは柳の花のあと、綿状の種子が飛んでいるところでした。中国を代表する動物パンダにも中国人の統治が及ばなかった租界にも隔てなく柳絮は飛んでいました。
(自註)

詩

大自然

京町区 市田寛幸

祈って助かるものなら 祈りもしよう
泣いて逃れるものなら 涙もしよう
噴煙の高さに ただただ驚き
空吹く風の向きに 喜び嘆き
戦きと悲嘆の声をあげ
何ら成す術もないままに
仕方がないよと諦める

ありますか、好きだと言える一冊が。

おすすめの 一冊



『書類手帳ノート・ノマド』の文具術

美崎栄一郎／著
(ダイヤモンド社)

筆記具、付せん、クリアフォルダーなどの身の回りにある何気ない文具たち。仕事のプロであるあなたは、これらの文具にこだわり工夫して使っていますか。

この本では56のビジネスシーンで、パフォーマンスとモチベーションを上げるためのアナログツールの使いこなし方を分かりやすく解説。なるほど、こんな使い方があったんだ、と思わず試したくなるような情報が満載のツール本です。

BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

Editor's

◎編集後記

4月で広報担当となってちょうど1年となります。この1年は、とても早かったです。

今年、9人が新規採用で入って来ました。その1人が同じ職場に配属になりました。とても初々しく感じました。私も入社して15年目になります。初心を忘れず、がんばって行こうと思います。(川野)

◎えびの市の人口

男性／9,868人(－120人) 転入／122人
女性／11,373人(－131人) 転出／351人
合計／21,361人(－251人) 出生／113人

◎えびの市の世帯数

9052世帯(－114世帯)

(平成23年4月1日現在)

今月の
納税

固定資産税 第1期
介護保険料 第1期

5月2日までに納めましょう。

あなたもつくってみませんか。

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056
(俳句) 松山良文さん ☎ 0984 - 33 - 4904
(詩) ポエム同好会(市田寛幸さん) ☎ 0984 - 37 - 2528 まで。



いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!

紫外線の害にご注意を

■萩原健師(長寿介護課)

運動やレジャーなど屋外での活動に適した季節になりました。屋外で活動するときは紫外線に注意が必要です。

紫外線は1年のうちでは春から初秋にかけて強く、4～9月に1年間のおよそ70%～80%、1日のうちでは午前10時～午後2時に1日のおよそ60%～70%というデータがあります。

紫外線の中でもB領域紫外線(UV-B)は人体に有害といわれ、皮膚への影響、目への影響が問題になります。皮膚への影響はしみやしわなど良く知られていますが、目にも影響があることは意外と知られていません。

紫外線が影響する目の病気が白内障、翼状片、加齢性黄斑変性症などがあります。UV-Bは薄い雲では80%以上が透過し、屋外では太陽から直接届く紫外線量と空気中で散乱して届く紫

外線量がほぼ同率です。

また、地表面の反射も地表の種類によって異なりますが、10%～25%のはね返りがあります。これらの特徴を考慮して対策をとらなければなりません。

紫外線の害から身を守るには、日傘や帽子・長袖シャツで紫外線をカットしましょう。帽子は首筋まで隠れるものを、日傘は黒いものかUV加工されたものを、眼に関しては帽子では20%しか防ぐことが出来ないののでUVカット加工の色の薄いサングラスを利用しましょう。

屋外での活動は身体にも精神にも良い効果が得られますが、紫外線の害のことも考慮して、時間帯を考えて行いましょう。

紫外線の強い時間帯の行動ではUVカット加工の衣類や紫外線防止剤を上手に使い健康的に屋外での活動を楽しみましょう。

男女共同参画だより

なくそう。ドメスティック・バイオレンス

DV(ドメスティック・バイオレンス)は、親密な関係にある配偶者(内縁関係・別居等を含む)や恋人等の間に起こる様々な暴力のことをいいます。(未婚の若い男女間に起こるDVをデートDVといいます。)

暴力には、身体的・精神的・性的・経済的・子どもを利用した暴力があります。

内閣府の調査(平成21年3月現在)で、女性で3人に1人、男性で6人に1人がDVにあたる行為(暴力)を配偶者から受けています。また、宮崎県でも現実に起きています。

DVは個人的なこと、夫婦げんか・痴話げんかとされ、社会問題・犯罪と思われてきませんでした。そのため被害は潜在化し、被害者は誰にも助けを求めることができず、孤立化した状態におかれることが

多かったのです。

DVは当事者だけでは解決が困難で、適切な介入、地域・社会全体での取り組みが必要な問題であるということを認識しなければなりません。

「そのくらいの夫婦げんかなら皆やっているよ」「子どものために我慢したほうがいい」などと、暴力を容認するようなことをいわないようにしましょう。

DVは、被害者1人の力で容易に解決する問題ではありません。DVに理解のある専門機関(相談窓口)に相談しましょう。

[えびの市女性相談所](相談は無料)

【相談専用電話】☎ 35 - 0152

【相談日時】月～金曜日(祝日・年末年始は休み)

午前9時から午後4時まで

※女性相談員が対応し、秘密は厳守します。

ふるさと散歩

Furusato-sanpo

150

吉都線の開通



平成2年11月1日、「加久藤駅」は「えびの駅」に改名されました。

吉都線が開通して今年十月一日で百年となります。

宮崎線（現吉都線および日豊本線）の設計計画は、明治二十五年宮崎県内の鉄道の建設を目的に県下の有志で設立された「日向鉄道協会」に始まりました。

明治二十九年設立された「西南鉄道株式会社」が延岡と都城と国分間の鉄道建設を計画。明治三十八年には、宮崎県知事岩尾三郎が、当時建設中の鹿児島線を吉松から小林に迂回して人吉を通る経路に変更の申請をしています。

明治三十九年には、「日向鉄道期成同盟会」が結成され、官設鉄道の建設促進の運動に着手

しました。明治四十二年に入り衆議院は、宮崎県下縦貫鉄道速成の請願を採択し、宮崎県内における鉄道敷設の気運は高まってきました。

明治四十二年当初の宮崎と吉松間の工事に対する予算は、約七百六十万円でしたが、路線が都城迂回に変更されたため、三百万円追加されました。

明治四十四年二月一日、工事は吉松から始められました。それと合わせるかのように、肥薩線の「真幸駅」も明治四十四年五月十一日、駅長以下八人の駅員で営業を開始しています。宮崎県で最初の国鉄駅です。

大正元年、吉松と小林間の路線が開通。同十月一日、小林で

開通式が行われましたが、翌二日、暴風雨のため路線が決壊。飯野と吉松間は三日、飯野と小林間は五日に応急修理をして開通しました。

大正五年には、宮崎までの全線が開通しました。

昭和七年（一九三二年）十二月六日、都城と吉松間が吉都線と改称され、昭和三十二年七月五日に上江駅が新設されました。

昭和六十一年十一月一日には、えびの市内全駅が無人工化となりました。平成二年十一月一日、京町温泉駅、えびの駅、えびの上江駅、えびの飯野駅と改名されました。

（文）市歴史民俗資料館

広報えびの4月号
2011.4.20/No534

発行／えびの市役所 編集／企画課情報係
〒889-4292 宮崎県えびの市大字葉下1292番地
TEL0984-35-1111 FAX0984-35-0401

（ホームページアドレス）<http://www.city.ehino.lg.jp/>
（携帯サイトアドレス）<http://www.city.ehino.lg.jp/mobile/>
（メールアドレス）info@city.ehino.lg.jp

▲ 非核平和のまちえびの市



広報えびのは環境にやさしい大豆油
インキを使用しています。